

応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内（未発表のものに限る）。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。（☎koho@city.shiroishi.miyagi.jp）

市民文芸



歌壇 岩崎聰之介選

背まるめ畳よたよた老いたれど鎌もてばはらしやんと仕事す 今日九十歳 百年人生の登り口どこかに欲しいね御休み処 齋藤 巖 三十度なんだでは暑いね此だな日は昔ならキャンド売り自転車で来たべすた 小室アイ子 ホトトギス深夜の鳴き声何ならん会話かも知れぬ嘆きとも聞こゆ 阿部かつみ 憧れのゲストと対面「のど自慢」オキニ衣装で唄う女人素敵 前田 由美 藤の樹々里山の陰に音もなく薄紫を踊らせて居る 木村 芳春 伽羅路にせむと路取り競い合うまずまず採れて疲れも感じぬ 佐藤 啓子 草取りで右手食指の爪が減り小さく丸むをつくづくと見つ 末吉アツ子 石道に散りたる桜かぜのまま瀬とも流れて木蹴を舞ふ 佐藤喜恵子 廂の巢古去とくらべりや未だ小とし作れる蜂を暫し目に追ふ 寺崎 悦子

俳壇 山家弘子選

大早瀬体くねらせ鮎挑む ラジオより野球中継草むしる 散策や静寂破る牛蛙 初夏の陽にきらきら光る竹雫 花咲くも民話の里となりし過疎

我妻 孝則 平間 幸恵 末吉アツ子 菊川いつ子 菊地せつ子 菊地せつ子

柳壇 四竈英夫選

夏燕谷間をスイスイ風切って 太公望釣果如何にと鮎の宿 青蛙ケロケロケロと葉隠れに 青梅雨や洗濯干しは家の中 烈風に青葉若葉の山唸る

山田 もも 星 明 村上八重子 佐藤 啓子 木村 芳春

二句目、テレビで野球観戦をしたいが、庭や畑の草むしりをせねばならず、ラジオを聞きながらの応援。三句目、夕方に散歩を楽しんでいると近くの池から突然に牛蛙の音が。牛に似た大きな声が辺り一面に響きわたる。心が癒される。

二句目、鮎の稚魚は十一月頃に海に下る。春頃に川に上る。上る途中には大きな早瀬を突破しなくてはならない。小さな命の試練。

二句目、テレビで野球観戦をしたいが、庭や畑の草むしりをせねばならず、ラジオを聞きながらの応援。三句目、夕方に散歩を楽しんでいると近くの池から突然に牛蛙の音が。牛に似た大きな声が辺り一面に響きわたる。心が癒される。

ネット化でタッチひとつの怖さあり 一つの世も軽きひと言敵となり サスペンス眠りに落ちて犯人は誰 東西に横綱揃い期待感 たかいたかい子守じやないよ物価だよ 古古古米何に備えた米なのか 古古古米をブレンド米に棚卸し 政権で変わる農政士気を下げ 燕来たお疲れ様と領いて 遠方より孫が来たりし久しぶり

菊川いつ子 菊地せつ子 小室アイ子 末吉アツ子 佐藤 啓子 齋藤 巖 星 明 遠藤 松雄 我妻 孝則 遠藤 舞

二句目、要人の失言が目立つ昨今。撤回しただけでは済まない怒り心頭に発する。「病は口より入りて災いは口より出る」とか。

三句目、コタツに入りサスペンスを見る至福の時間。ついうとうとしてるうちにドラマは終わっていた。かくして事件は迷宮入りに。

Shiroishi Market

フレッシュマーケット

～まだ知らない地元農産物の魅力届けたい～

地元の農産物や直売所などの魅力をお届けします。
～白石市直売所連絡協議会は、地産地消を推進！～

市内の農産物
直売所情報▶



毎年好評！夏の味覚「ピュアホワイト」

白いトウモロコシ「ピュアホワイト」は、白石のブランド野菜「白石三白野菜」のひとつで、糖度が高く、メロン並みの甘さが魅力です。皮が薄いため、生のまま食べるとシャキシャキとした食感を楽しむことができます。また、ゆでてでも焼いてもおいしく召し上がれます。おもしろい市場で販売していますので、ぜひご賞味ください！
※天候により、収穫量が少ない場合があります。詳しくはおもしろい市場（☎26-9778）までお問い合わせください。なお、店頭での販売のみで、取り置きは行っていません。

☎農林課 ☎22-1253



皆さんからのすてきな情報を待っています！／

まちかどズームイン



▲バランスボールで楽しそうに遊ぶ子どもたち

地域に子どもたちの遊び場を
越河地区「子どもあそびのひろば」

6月21日、越河公民館で「子どもあそびのひろば」が開催されました。これは、遊び場が少ない地域の子供たちに、思いきり遊べる場所を提供しようとする取り組みで、毎月一回、公民館を解放。この日は親子連れなど約30人が参加しました。参加した子どもたちは、暑さに負けず元気いっぱい遊んでいました。



▲生徒たちのパフォーマンスはドローンで空から撮影

書に込めた火の用心

白石高校書道部パフォーマンス書道

7月7日、白石消防署の火災予防広報の一環として、白石高校書道部によるパフォーマンス書道が行われました。「火の用心」などの力強い書は動画にまとめられ、仙南消防本部のSNSで公開されています。若い世代の感性を生かした取組が、火災予防への関心を高める機会となりました。



▲Instagram
アカウント



▲梅花藻研究発表の様子、参加者は真剣に耳を傾けていました

梅花藻とともに楽しむ
2025百白・白石梅花藻まつり

6月21日、「白石梅花藻まつり」が開催されました。寿丸屋敷では、白石高校自然科学部による梅花藻研究発表とお抹茶コーナー、すまいる広場では、百白マルシェやさまざまなステージイベントが開催。梅花藻を鑑賞するまち歩きが行われるなど、参加者は初夏の催しを満喫。会場は多くの人でにぎわいました。



▲来館者50万人おめでとう！会場に集まった子どもたちと記念撮影

50万人スピード達成！

こじゅうろうキッズランド来館者50万人達成

6月22日、こじゅうろうキッズランド来館者が50万人を達成。40万人到達からわずか1年での達成となりました。50万人目の来館者となった仙台市在住の今さん一家には、年間ファミリーパスポートと白石産ササニシキ、白石温麺を贈呈。こじゅうろうキッズランドは、これからも皆さんのご来場をお待ちしています。